

第 3 次石狩市環境基本計画策定市民会議

いしかりeco未来会議

本日のプログラム

時 間	内 容
18:30～18:35	開会挨拶
18:35～18:45	本日のプログラムとこれまでの会議の振り返り
18:45～18:55	<ul style="list-style-type: none">・意見交換の進め方・石狩ならではの環境行動プラン（案）（第3回eco未来会議の意見のまとめ）について
18:55～19:55	<p>【意見交換】</p> <ul style="list-style-type: none">・前回出されなかった分野について、市民や事業者できること。・市民として、より積極的に取り組むべきことは何か。・環境行動プラン（案）を市民に実行してもらうためには、どのような取り組みがあるか。
19:55～20:00	グループ発表
20:00～20:05	まとめ
20:05	閉会

これまでの会議の振り返り

目指す環境像

**「地域の豊かな資源を活かし 未来へつなぐ
持続可能な共生都市 いしかり」**

この目指す環境像は、
市域にある豊かな地域資源を大いに活用し「自然と人との共生」「地域間との共生」を図り、持続可能な都市であり続けることを目指したもの。



意見交換の進め方



テーマ

**“石狩市ならではの”の
環境行動プラン（案）
の充実を図り、内容を
深める**



話すこと

- ① 第3回未来会議において出た意見をもとに、分野ごとに市民と事業者ができる環境行動を改めて考えてみましょう
- ② 石狩市民として、より積極的に行いたい取組を考えましょう
- ③ “石狩市ならではの”の環境行動プランを市民に実行してもらうために、どんな取組が必要か考えましょう

① 第3回未来会議において出た意見をもとに、**分野ごとに市民と事業者**
ができる環境行動を改めて考えてみましょう

石狩市が目指す姿

安全・安心

- 生活環境の保全
- 都市環境の形成

生物多様性

- 自然環境の保全・活用
- 生物多様性の保全
- 自然とふれあう場の創出

資源循環

- 廃棄物減量の推進
- 廃棄物適正処理の推進
- バイオマスの利活用の推進

脱炭素

- 地球温暖化対策の推進
- 再生可能エネルギーの地域利活用の推進
- 地球環境保全対策の推進

視点



市民



事業者

環境行動を行う場面

会社や学校
家の中など

日常

イベントや
ボランティア活動など

非日常

引っ越し
や結婚など

節目

① 第3回未来会議において出た意見をもとに、分野ごとに市民と事業者ができる環境行動を改めて考えてみましょう

日常的にできる環境行動

「安心・安全」

—誰もが安心・安全な環境の中で、健康で快適に暮らすことができるまち—

- 石狩市と災害協定を結んでいる企業を把握しておく。
- 防災グッズの用意や自宅周辺の避難場所を把握しておく。
- ポイ捨てにされたごみは気が付いたひとが拾う。
- ゴミ捨てのマナーを市民や観光客に呼びかける。



「生物多様性」

—豊かな自然と多様な生物、そして人とが共生するまち—

- 散歩や休憩場所として、海や木々がよく見える場所を選び、日常的に自然を楽しむ。



「資源循環」

—資源を有効に活用し、環境に優しい循環型社会が実現しているまち—

- ごみを出さないような生活を心がける。
- ごみの分別を心がけ、地区別に定められたごみ収集日に従って捨てる。
- 使い捨て容器の使用を避け、ごみを削減する。
- 石狩平野に咲く花からミツバチが集めたミツを使用した蜜蝋でラップを作るなど、繰り返し使用できる商品を使う。



参考資料①

第3回未来会議において出た意見をまとめた資料を参考にして考えてみましょう。

例えば…

「安心・安全」等比べ、「生物多様性」の分野に関連した環境行動が少ない！

→では、市民と事業者がこの分野で日常的に取り組むことができる環境行動は何だろう？
など

① 第3回未来会議において出た意見をもとに、分野ごとに市民と事業者ができる環境行動を改めて考えてみましょう

環境行動リスト（例）

<リビングや各部屋でできること>



年間 2,000 ~ 4,000 円の節約に! (例)



NHK のホームページの無料動画や
Youtube で見るのもおすすめ



<台所でできること>



参考資料②

第3回未来会議でも使用した「環境行動リスト（例）」も参考にしながら、取り組むことができそうな行動を考えましょう。

例えば…

石狩市ではこの取組はどのように行うのが良いか？を考える

- 場所は石狩浜が良い…
- 事業者は〇〇な補助を行う…
- 地域で節電の成果を共有する…

など

② 石狩市民として、より積極的に行いたい取組を考えましょう

日常的にできる環境行動

「安心・安全」

—誰もが安心・安全な環境の中で、健康で快適に暮らすことができるまち—

- 石狩市と災害協定を結んでいる企業を把握しておく。
- 防災グッズの用意や自宅周辺の避難場所を把握しておく。
- ポイ捨てにされたごみは気が付いたひとが拾う。
- ゴミ捨てのマナーを市民や観光客に呼びかける。



「生物多様性」

—豊かな自然と多様な生物、そして人とが共生するまち—

- 散歩や休憩場所として、海や木々がよく見える場所を選び、日常的に自然を楽しむ。



近所の
植栽を
把握して
おく



「資源循環」

—資源を有効に活用し、環境に優しい循環型社会が実現しているまち—

- ごみを出さないような生活を心がける。
- ごみの分別を心がけ、地区別に定められたごみ収集日に従って捨てる。
- 使い捨て容器の使用を避け、ごみを削減する。
- 石狩平野に咲く花からミツバチが集めたミツを使用した蜜蝋でラップを作るなど、繰り返し使用できる商品を使う。



生ごみは
水気を
切って
捨てる



考えた環境行動をもとに、積極的に
行いたい、積極的に行うべきだと思
う取組を整理してみましよう

例えば…

→石狩市の環境について学びながら保全活動
ができるので、「地域のごみ拾い活動に積極
的に参加する」ことに取り組もう！

→取り組みやすく継続しやすいので、「使い
捨て容器の使用を避ける」ことに取り組も
う！

など



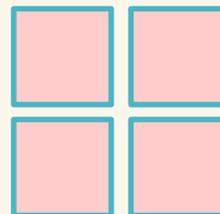
③ “石狩市ならではの”環境行動プランを市民に実行してもらうために、 どんな取組が必要か考えましょう

教育・パートナーシップ

- 環境教育の推進、環境意識の向上
- 様々な主体との連携・協働の推進

— 全ての人々が環境を学び、考え、行動することで、環境施策に「協働」で取り組んでいるまち —

- 石狩市で行われている環境保全の取組を、学校の学級レクリエーションや課外学習に取り入れる。
- 現在、石狩市内で行われている取組を、市民に周知して参加を促す。
- 石狩市環境基本計画をメールマガジンやネットで配信する。
- 会員などにならなくても、地域のための活動ができる仕組みをつくる。
- 環境教育の推進のため、森林などについて学ぶ機会を創出する。



石狩市がめざす姿の1つである「教育・パートナーシップ」に長けたまちの実現のためや、石狩市民に環境行動に取り組んでももらうためには、どんな取組が必要になってくるのでしょうか。

「“石狩市ならではの”環境行動プランリスト（案）」を参考にしながら、具体的に考えてみましょう。

考えるためのキーワード例

- 教育
- イベント
- 情報発信
- 繋がりづくり など

意見交換の3つのルール

意見は
手短かに

限られた時間の中で、みなさんからたくさんの意見を出してもらうため、意見は手短かに話しましょう

共感
する

他の人の意見や考えに対して共感することを心がけ、意見を否定しないようにしましょう

意見を
たくさん
出す

他の人の意見に乗っかりながら、できるだけたくさんの意見を出し合いましょう

“石狩市ならではの” 環境行動プランリスト(案)



石狩市第3次環境基本計画では、石狩市が目指す環境像として「地域の豊かな資源を活かし未来へつなぐ 持続可能な共生都市 いしかり」を掲げています。そして、石狩市第3次環境基本計画では、これを達成するために、石狩市が5つの目指す姿（長期的な目標）を定めました。

石狩市が目指す姿

安全・安心

- 生活環境の保全
- 都市環境の形成

誰もが安心・安全な環境の中で、健康で快適に暮らすことができるまち

生物多様性

- 自然環境の保全・活用
- 生物多様性の保全
- 自然とふれあう場の創出

豊かな自然と多様な生物、そして人が共生するまち

資源循環

- 廃棄物減量の推進
- 廃棄物適正処理の推進
- バイオマスの利活用の推進

資源を有効に活用し、環境に優しい循環型社会が実現しているまち

脱炭素

- 地球温暖化対策の推進
- 再生可能エネルギーの地域利活用の推進
- 地球環境保全対策の推進

世界をリードするエネルギー転換・脱炭素化社会が進み、かけがえのない地球資源を未来の子どもたちへと継承しているまち

教育・パートナーシップ

- 環境教育の推進、環境意識の向上
- 様々な主体との連携・協働の推進

全ての人が環境を学び、考え、行動することで、環境施策に「協働」で取り組んでいるまち

これらの5つの目指す姿を実現するために、eco市民会議と石狩市では、市民と事業者がそれぞれ環境を良くしていくためにできる行動として「石狩市ならではの”環境行動プラン”」を考えました。

次ページから、5つの目指す姿を実現するためにできる環境行動として、「日常的にできる環境行動」、「イベントなどの非日常の中でできる環境行動」、「引っ越しや結婚などの節目にできる環境行動」の3つの分類に分けてリスト化しています。

取り組みそうなところから、少しずつ。“石狩市ならではの”環境行動をはじめませんか。



日常的にできる環境行動

「安心・安全」

—誰もが安心・安全な環境の中で、健康で快適に暮らすことができるまち—

- 石狩市と災害協定を結んでいる企業を把握しておく。
- 防災グッズの用意や自宅周辺の避難場所を把握しておく。
- ポイ捨てにされたごみは気が付いたひとが拾う。
- ゴミ捨てのマナーを市民や観光客に呼びかける。



「生物多様性」

—豊かな自然と多様な生物、そして人とが共生するまち—

- 散歩や休憩場所として、海や木々がよく見える場所を選び、日常的に自然を楽しむ。



「資源循環」

—資源を有効に活用し、環境に優しい循環型社会が実現しているまち—

- ごみを出さないような生活を心がける。
- ごみの分別を心がけ、地区別に定められたごみ収集日に従って捨てる。
- 使い捨て容器の使用を避け、ごみを削減する。
- 石狩平野に咲く花からミツバチが集めたミツを使用した蜜蝋でラップを作るなど、繰り返し使用できる商品を使う。



引っ越しや結婚などの節目でできる環境行動

「安心・安全」

—誰もが安心・安全な環境の中で、健康で快適に暮らすことができるまち—

「生物多様性」

—豊かな自然と多様な生物、そして人とが共生するまち—

「資源循環」

—資源を有効に活用し、環境に優しい循環型社会が実現しているまち—

「脱炭素」

—世界をリードするエネルギー転換・脱炭素社会が進み、かけがえのない地球環境を未来の子どもたちへと継承しているまち—

- 車を買替える際は、ハイブリッド車などのエコカーを選ぶ。
- 雪冷房システムを導入する。



「教育・パートナーシップ」

—全ての人々が環境を学び、考え、行動することで、環境施策に「協働」で取り組んでいるまち—

- 石狩市で行われている環境保全の取組を、学校の学級レクリエーションや課外学習に取り入れる。
- 現在、石狩市内で行われている取組を、市民に周知して参加を促す。
- 石狩市環境基本計画をメールマガジンやネットで配信する。
- 会員などにならなくても、地域のための活動ができる仕組みをつくる。
- 環境教育の推進のため、森林などについて学ぶ機会を創出する。

